

ママパパラインの推進とネットワークづくり

「ママパパライン」は、2008年商標登録

2002年に創設し、7か所でネットワークを組んで開設しています

ママパパラインは、子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安に耳をかたむけ、話を聴いてもらったり、受け止めてもらうことで安定した気持ちを取り戻し、養育者自らが、解決への力を取り戻し（レジリアンシー）新しい人間関係づくりや育児を前向きに楽しめるようにします。傾聴によるエンパワメントでもあり、虐待の未然防止としての効果も期待されています。

「気軽に聴いてくれる電話・話せる電話」としてハードルが低いことが、社会的な存在価値です、「聴いてもらって気持ちが楽になった」「スッキリした」などの声からは、共感的に受け止める「傾聴」による応援が、解決が困難な状況でも、解決に向かう勇気や、気持ちを整理し前を向く力をもたらしています。名前も住所もお聞きしません。もちろんプライバシーは守ります。お気軽にお電話ください。

全国キャンペーン：2026年2月2日（月）～7日（土）

7か所で6日間毎日開設します。

①ママパパラインほっかいどう

電話・常設：080-6062-4735 第2・第4月曜日 13時～16時

実施団体：特定非営利活動法人 こども・コムステーション・いしかり（連絡先 0133-64-5640）

②ママパパライン仙台

電話・常設：022-773-9140 毎週金曜日 10時～16時

実施団体：特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場（連絡先：022-375-3548）

③ママパパラインふくしま

電話・常設：0242-85-7878 毎週第1・3木曜日 10時～16時

実施団体：会津子ども劇場（連絡先：0242-27-0588）

④ママパパラインちば

電話・常設：043-204-9390 毎週金曜日 10時～16時

実施団体：特定非営利法人子ども劇場千葉県センター（連絡先：043-301-7262）

⑤ママパパライン東京川の手

電話・常設：03-3633-0415 每週第1・3金曜日 13時～16時

実施団体：特定非営利活動法人こうとう親子センター（連絡先：FAX 03-3634-4085）

⑥ママパパラインあいち

電話・常設：052-203-8655 毎週月曜及び水曜日 10時～16時

実施団体：特定非営利活動法人名古屋おやこセンター（連絡先：052-205-8881）

⑦ママパパラインひょうご

電話・常設：070-1850-4010 080-3866-8333

毎週水曜日 10時～14時

実施団体：特定非営利活動法人兵庫県子ども文化振興協会（連絡先：078-361-1152）



特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センター

〒133-0057

東京江戸川区西小岩2-10-16 ライオンズマンション西小岩第3-402号

TEL: 03-5876-8251 FAX: 03-5876-8252 E-mail: info@kodomo-npo.org

HP <http://www.kodomo-npo.org>

子どもNPO・子ども劇場全国センターの前身である「全国子ども劇場おやこ劇場連絡会」の25年を経てその活動を継承し、経済企画庁より1999年4月に特定非営利活動法人として認証されました。



子どもが“子ども”として

生きられる社会を



「子どもNPO・子ども劇場全国センター」は
子どもとおとのパートナーシップで
子どもたちが、夢と希望をもてる社会を目指します。

私たちは地域における芸術的体験や、野外での遊び体験、社会体験を通じ、子どもと大人が共に育ちあい、子どもが社会参画をする機会を広めていく、全国の地域NPOとのネットワークを組んで活動している全国規模の団体です。子どもの権利条約の理念を基本とし、わくわくドキドキする感動や子どもも大人も「安心ができる環境づくり」を広めると同時に、市民社会を築くための基盤整備にも貢献しています。



特定非営利活動法人 子どもNPO・子ども劇場全国センター

子どもNPOや子ども劇場は
全国各地の拠点で活動を展開

子どもNPO・子ども劇場全国センターの事業

こども家庭庁や国の「こども基本法」「こども大綱」情報提供

①「こども家庭庁」や国の「こども基本法」「こども大綱」「少子化対策」等の施策、自治体の「こども計画」策定等、子ども・子育て施策の行方を注視し、転換期でもあるこの機に、行政等とNPOとの新たな連携を模索し施策を推進する。

子どもの育ちと芸術文化事業の推進をはかる活動

- ①長期入院の子ども等、子どもたちへのホッとアートプレゼントの機会の提供
- ②心が傷つきケアを必要としている子どもたちに、あそびやワークショップを届ける活動
- ③0歳～2歳児とその親が笑顔になり、親子の愛着形成を深めるワークショップを届ける

子どもたちを「笑顔」にしたい！！その願いから始めた事業です。全国の団体正会員のネットワークを活用し、長期入院している子どもたちを真ん中に、プロによるクラウンや人形劇、マジック ワークショップなどを届けています。夢中になれる楽しいひとときを小児病棟のみんなが一緒に参加し体験することで、辛い治療や病気を一瞬でも忘れ、ホッとする時間を共に喜び合い感動的な交流の場になっています。また、0歳～2歳児と保護者、乳児院や児童養護施設等へ、プロによるワークを届け、子どもの心身の成長発達、非認知能力の醸成、自己肯定感やQOL向上に寄与し、行政等との連携して実施しています。



夢や希望が語れる社会を一子どもとともに

私たちは、1966年の活動開始以来、芸術体験、自然体験、社会体験を通じ、子どもと子育てにかかわる人々と共に歩んできました。半世紀を超える民間活動を支えてきたものは、子どもが宿す底知れぬエネルギー、一人ひとりが異なる輝くような魅力、そして子を慈しむ親の愛情です。いつの時代にあっても子どもたちは、人間や自然に対するやさしさ、強さ、まっすぐな希望の芽を宿しています。

しかし今、いじめや、体罰、虐待、貧困等将来に対する不安などから、子ども本来ののびやかさを失っているように感じます。養育者も子育てへの不安を抱いています。これら子どもや子育ての地域課題を、地域も家庭も学校も社会全体で解決しようと、新たな関係とあり方を求めて動き出そうとしています。

子どもを育てるということは、やがて社会を支える人材を育成することであり、親の力によってのみ育てることはできません。時代と社会全体が変質する中にあっても、子どもは社会の一員になるために、地域社会の多様な大人と継続的にかかわるプロセスは欠かすことができない重要な体験です。

子どもには「豊かな子ども時代」を過ごす権利があります。

多様な個性が輝き、夢や希望が語れる社会こそ。子どもが願う社会です。

そんな社会の実現を、子どもと地域社会の人々と共に目指したいと思います。

正会員 (団体年会費1口30,000円 個人年会費1口10,000円)

情報会員 (団体年会費1口20,000円)

賛助会員 (団体・個人年会費1口10,000円)

会費の振込先：三菱UFJ銀行六本木支店(普)1545598

特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センター

通常総会年1回開催 理事会年3回開催 役員:理事7名・監事1名

共済制度の普及 情報紙の発行

「団体共済制度」子どものための「NPO総合保険」の普及
アクティビレポートの発行

